

2024

12.1日

明治大学グローバルフロント1階
グローバルホール

開会挨拶 10:30～

午前の部

記念講演 10:35～

高雲基 | 韓国・漢陽大
教授

朝鮮通信使の使行録に現れた四十七士の物語

セッションI 11:20～

石川日出志 | 明治大学文学部
教授

「漢委奴國王」金印と蛇鈕印の型式学

午後の部

セッションII 13:00～

吉村武彦 | 明治大学
名誉教授

趣旨説明

新名 強 | 三重県教育委員会

全国の仮名書き墨書土器

吉野秋二 | 京都産業大学
教授

平安京の仮名墨書土器

犬飼 隆 | 日本語学者

歌と墨書土器

セッションIII 16:00～

牧野淳司 | 明治大学文学部
教授

明治大学所蔵毛利家文庫旧蔵書の調査進捗報告

中村成里 | 明治大学商学部
准教授

毛利家本『古今集真名序注』について

石澤一志 | 鶴見大学
非常勤講師

毛利家本の題簽の筆跡

閉会挨拶 17:30～



対面・オンライン併用開催

https://www.isc.meiji.ac.jp/~meikodai/obj_info_kokyo2024.html

どちらの参加方法でも、事前申し込みが必要です。
(11月27日締切、対面は先着100名)

交響する古代XV

国際学術研究会

全体テーマ 〈古代東アジア社会の史資料—モノとテキスト—III〉

主催：明治大学日本古代学研究所

共催：科学研究費 基盤研究(C)「土器型式の動態から見た弥生時代中期日本列島社会の変革」(研究代表者：石川日出志)
科学研究費 基盤研究(A)「双方向性をもつ墨書土器プラットフォームの構築と墨書土器研究の新展開」(研究代表者：吉村武彦)
科学研究費 基盤研究(B)「中近世毛利家における知的体系の復元的研究—明治大学図書館所蔵毛利家旧蔵書を起点に」(研究代表者：牧野淳司)